

令和2年度計画護衛艦5番艦 命名・進水式 艦名「やはぎ」

令和4年6月23日（木）、三菱重工業株式会社長崎造船所にて、九州防衛局長崎防衛支局が監督・検査を担当している令和2年度計画護衛艦5番艦の命名・進水式が執り行われました。

式典当日は晴天に恵まれ、西佐世保地方総監執行のもと岩本防衛大臣政務官、酒井海上幕僚長、春日原装備庁長官官房審議官、伊藤九州防衛局長、三原長崎防衛支局長、支局員及び三菱重工業株式会社の関係者が見守る中、粛々に行われました。

命名式では、佐世保音楽隊による国歌吹奏に引き続き、岩本防衛大臣政務官が命名書を読み上げ、「やはぎ」と命名されました。「やはぎ」は西三河地域を流れる一級河川の矢作川に由来しています。また、この艦名は、旧海軍の筑摩型防護巡洋艦「矢矧」、阿賀野型軽巡洋艦「矢矧」に続き3代目になります。

命名式に引き続き、立神艦船製造部長の進水準備完了の合図により、岩本防衛大臣政務官が斧を振り下ろし、支綱の切断を行いました。くす玉が割れ佐世保音楽隊が奏でる軍艦マーチのなか、号砲とともに色とりどりの紙テープや風船が舞い艦番号5「やはぎ」は進水しました。

「やはぎ」は令和5年12月就役予定であり、これから就役に向けた本格的な装工事及び海上での確認運転等が計画されています。九州防衛局長崎防衛支局では引き続き、監督・検査に万全を期して参ります。



▲自衛艦命名式（岩本防衛大臣政務官から「やはぎ」と命名）



▲進水式（護衛艦「やはぎ」が進水）